

2020年度スポーツクライミング神奈川県代表選手・強化選手選考基準（改定版）

令和2年3月18日

神奈川県山岳連盟

神奈川県代表選手及び強化選手を選考する最終的な権限は神奈川県山岳連盟（以下「岳連」という。）が有する。選手の選考は、以下の基準に基づき競技委員会が推薦し、岳連理事会で承認することで決定する。

国民体育大会スポーツクライミング競技神奈川県代表選手

国民体育大会（以下「国体」という。）スポーツクライミング競技における神奈川県代表選手の選考について以下のとおりとする。

1 代表選手選考方針

- (1) 関東ブロック大会を通過し、本国体においても入賞の可能性が高い選手の組み合わせを重視する。
- (2) リード、ボルダリングを共にバランスよく取り組む選手を選考する。
- (3) 行動規範を重視し、神奈川県を代表するにふさわしい選手を選考する。

2 前提条件

- (1) （公財）日本スポーツ協会（以下「JSP0」という。）の定める国民体育大会参加資格を満たしている者。詳しくは <https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html> を参照。
- (2) （公社）日本山岳・スポーツクライミング協会（以下「JMSCA」という。）に2020年度選手登録をしている者（A登録かB登録かは問わない）。

3 選考方法及び選考基準

- (1) JSP0の定める「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」対象者
 - ① 両方（リード及びボルダリング）の種目で特例措置対象になっている選手
 - ② 片方（リード又はボルダリング）の種目で特例措置対象になっている選手※ 複数の選手が該当する場合は、ボルダリングジャパンカップ（以下「BJC」という。）及びリードジャパンカップ（以下「LJC」という。）の成績を勘案し、総合的に判断して選考する。
- (2) **（変更）** 県予選の順位による選考
順位はエキスパートクラスで参加している選手内での順位付けで行う。ただし、上記「2 前提条件」に該当しない選手の順位を除く。
 - ① ボルダリング神奈川カップの順位が小さな選手
 - ② ①で同点の場合、BJC又はLJCで上位の順位を有している選手を優先する。

- (3) (追加) ボルダリング神奈川カップが開催できない場合
- ① BJC 及び LJC の成績を勘案し、総合的に判断して選考する。
 - ② ①で選考できない場合、ユース選手権（リード、ボルダリング）の成績を勘案し、総合的に判断して選考する。BJC 及び LJC に出場しない選手で、国体神奈川県代表を目指す選手はユース選手権（リード、ボルダリング）出場すること。

4 選考人数

成年男子、成年女子、少年男子、少年女子の各種別 3 名ずつ（正代表 2 名及び予備登録選手 1 名）合計 12 名。（ただし、条件を満たす選手がその種別で 3 名に満たない場合はその限りではない。）

5 国体代表選手としての特典

- (1) 神奈川県为国体代表選手として選手強化事業の対象となる。
- (2) 関東ブロック大会及び本国体への大会派遣費用について、県の規程により助成される。
- (3) 強化練習に関わる施設使用料、交通費及び強化合宿の費用等について、規定により一定額助成される。
- (4) 選手強化期間中に、県代表選手として JMSCA 主催の大会に出場する際の旅費等について、規定により一定額助成される。
- (5) 当該年度中のスポーツ安全保険に加入する。保険料は岳連が負担する。

神奈川県山岳連盟ジュニア強化選手及び強化候補選手

ジュニア強化選手の選考については、ただいま検討中である。

3 選考方法及び選考基準

- (1) 2020 年 1 月～6 月に JMSCA 主催の全国大会で JMSCA 推薦選手に該当する成績をあげた者については変更しない。
- (2) 以降の基準については再度協議し、追って連絡する。